

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長

氏名 大上 高 充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 :  有・無

四半期決算説明会開催の有無 :  有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	568,687	△7.4	45,815	3.7	44,075	△1.4	30,616	△9.6
28年3月期第3四半期	614,013	△0.0	44,170	△29.9	44,689	△31.8	33,869	△31.3

(注) 四半期包括利益 29年3月期第3四半期 28,622百万円(16.7%) 28年3月期第3四半期 24,533百万円(△69.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第3四半期	143	19	143	19
28年3月期第3四半期	156	34	156	34

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	687,540	467,635	465,877	67.8
28年3月期	683,325	447,034	444,718	65.1

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
28年3月期	—	—	34	00	—	—	34	00	68	00
29年3月期	—	—	34	00	—	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	34	00	68	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	780,000	△6.4	64,000	2.8	62,500	△4.9	44,000	△7.0	205	79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 :  有・無

連結業績予想の修正については、本日(平成29年1月31日)公表いたしました「平成29年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無  
 新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	213,958,172株	28年3月期	213,958,172株
29年3月期3Q	151,120株	28年3月期	149,398株
29年3月期3Q	213,808,215株	28年3月期3Q	216,638,556株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成29年1月31日（火）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）  
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネンツビジネス（電子部品事業）  
 A E C : オートモティブ&エレクトロニックコンポーネンツビジネス（車載事業）  
 S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）  
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）  
 その他：環境事業、電子機器事業、マイクロデバイス事業、バックライト事業など（本社直轄事業）

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ○ 全般的概況

当第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月～12 月）における当社グループの業績は、円高による為替のマイナス影響などにより、売上高は前年同期比で減少しましたが、営業利益は増加しました。

当第 3 四半期連結累計期間の経済環境認識は以下のとおりです。

#### <各地域の経済・市場概況>

日本： 個人消費は足元で緩やかに回復、設備投資は一部で回復  
米州： 米国は雇用回復と堅調な個人消費による景気拡大が持続  
欧州： 緩やかな景気回復は継続するも、先行きの不透明感は継続  
中華圏： 公共投資拡大の下支え効果により、景気減速が一服  
アジア： 韓国の景気は一部回復傾向、タイ・インドネシア等は不透明感が継続

#### <当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連： 国内の軽自動車関連需要は足元で緩やかに回復、欧米は堅調  
半導体関連： 国内・海外の設備投資需要は好調  
工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は引き続き低調  
家電・電子部品関連： 設備投資需要は堅調、部品需要は緩やかな回復傾向  
健康医療機器関連： 国内個人消費は回復傾向、新興国は堅調

当第 3 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	6,140 億 13 百万円	5,686 億 87 百万円	△7.4%
営 業 利 益	441 億 70 百万円	458 億 15 百万円	+3.7%
税引前四半期純利益	446 億 89 百万円	440 億 75 百万円	△1.4%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	338 億 69 百万円	306 億 16 百万円	△9.6%
米ドル平均レート	121.5 円	106.9 円	△14.6 円
ユーロ平均レート	133.5 円	118.7 円	△14.8 円

○ セグメント別の状況

**I A B (制御機器事業)**

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	953 億 78 百万円	965 億 58 百万円	+1.2%
	海外	1,562 億 8 百万円	1,434 億 34 百万円	△8.2%
	合計	2,515 億 86 百万円	2,399 億 92 百万円	△4.6%
営業利益		367 億 59 百万円	370 億 67 百万円	+0.8%

<国内売上高の状況>

円高によって顧客が設備投資に慎重になったものの、デジタルを中心とした注力業界等で販売が拡大し、当期間の国内売上高は前年同期比で増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では石油関連事業売却の影響で売上高は減少しましたが、自動車関連業界における需要は堅調に推移しました。欧州では買収した米国企業の欧州の売上高が寄与したことに加えて、ユーロ安を背景に輸出企業の需要が堅調だったことから、売上高は増加しました。中華圏では景気減速が一服する中、デジタル・インフラ・環境関連事業での需要が好調に推移しました。アジアでは新興国での不透明感が継続する中、韓国のデジタル業界における投資活発化を背景に好調に推移しました。これらに円高による為替の大きなマイナス影響が加わった結果、当期間の海外売上高は前年同期比で減少しました。

<営業利益の状況>

円高による為替のマイナス影響および成長のための投資拡大の一方で、売上の拡大と売上総利益率の改善が進んだことにより、営業利益は前年同期比で横ばいとなりました。

**EMC (電子部品事業)**

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	177 億 80 百万円	166 億 5 百万円	△6.6%
	海外	609 億 38 百万円	522 億 77 百万円	△14.2%
	合計	787 億 18 百万円	688 億 82 百万円	△12.5%
営業利益		65 億 65 百万円	71 億 48 百万円	+8.9%

<国内売上高の状況>

アミューズメント業界での売上高の減少などにより、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州では業務民生業界や自動車関連業界の顧客の在庫調整により需要が減少しました。欧州では自動車関連業界の需要が堅調に推移しました。中華圏では業務民生業界の需要が減少しました。これらに円高による為替のマイナス影響が加わった結果、当期間の海外売上高は前年同期比で大きく減少しました。

<営業利益の状況>

売上高の減少や円高による為替のマイナス影響があったものの、前年度に実施した生産性向上の取り組み効果により、営業利益は前年同期比で増加しました。

### AEC（車載事業）

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	155 億 65 百万円	137 億 70 百万円	△11.5%
	海外	884 億 33 百万円	831 億 41 百万円	△6.0%
	合計	1,039 億 98 百万円	969 億 11 百万円	△6.8%
営業利益		52 億 41 百万円	48 億 82 百万円	△6.8%

#### <国内売上の状況>

第 2 四半期までの軽自動車販売台数の減少などの影響により、当期間の国内売上高は前年同期比で大きく減少しました。

#### <海外売上の状況>

米州では堅調な米国経済を背景に需要が拡大しました。中華圏では政府の減税施策を背景とする好調な自動車販売を受けて需要が拡大しました。しかしながら、円高による為替の大きなマイナス影響が加わった結果、当期間の海外売上高は前年同期比で減少しました。

#### <営業利益の状況>

売上高の減少に加え、円高による為替のマイナス影響もあり、営業利益は前年同期比で減少しました。

### SSB（社会システム事業）

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		448 億 65 百万円	345 億 54 百万円	△23.0%
営業利益（△損失）		△26 億 62 百万円	△33 億 72 百万円	—

#### <駅務システム事業の売上高の状況>

駅務機器に関する更新需要の一巡に伴い、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

#### <交通管制・道路管理システム事業の売上高の状況>

幹線道路関連の端末更新需要が堅調に推移した一方で、高速道路の投資需要が低調に推移しました。これらの結果、当期間の売上高は前年同期比で減少しました。

#### <環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要が低調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

#### <営業利益の状況>

売上高の減少を受けて、営業利益については前年同期比で損失額が増加しました。

## HCB（ヘルスケア事業）

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	230 億 47 百万円	226 億 69 百万円	△1.6%
	海外	579 億 81 百万円	533 億 22 百万円	△8.0%
	合計	810 億 28 百万円	759 億 91 百万円	△6.2%
営業利益		63 億 26 百万円	75 億 81 百万円	+19.8%

### <国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器については、オンライン向け商品は市場の拡大により販売が好調だったものの、郊外の大型家電量販店での需要が低調に推移しました。医療機関向け機器については、医療機器販売子会社の株式譲渡に伴い売上高は減少しました。これらの結果、当期間の国内売上高は前年同期比で減少しました。

### <海外売上高の状況>

米州では、ブラジルにおいて血圧計販売が好調に推移しました。欧州では、ロシアでの血圧計新商品の販売に加え、その他の国での取扱店拡大により販売は好調に推移しました。中華圏では、薬局などの店頭販売が低調に推移した一方で、オンライン市場は引き続き拡大しました。しかしながら、円高による為替の大きなマイナス影響が加わった結果、当期間の海外売上高は前年同期比で減少しました。

### <営業利益の状況>

円高による為替のマイナス影響はあるものの、生産性の向上や固定費の効率的運用により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

## その他事業（本社直轄事業）

		平成 28 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	平成 29 年 3 月期 第 3 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		501 億 9 百万円	486 億 1 百万円	△3.0%
営業利益（△損失）		△19 億 6 百万円	△14 億 45 百万円	—

その他事業では、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄で行っています。

### <環境事業の売上高の状況>

太陽光発電関連市場の需要は引き続き低調だったものの、蓄電関連の商品拡充が寄与し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置および電子機器の開発・生産受託サービスの需要が好調に推移し、当期間の売上高は前年同期比で増加しました。

### <マイクロデバイス事業の売上高の状況>

スマートフォン向けマイクロフォンの需要の減少により、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

### <バックライト事業の売上高の状況>

中華圏のスマートフォン市場における商品価格低下やハイエンドスマートフォン市場の需要が低調だったことにより、当期間の売上高は前年同期比で大きく減少しました。

### <営業利益の状況>

売上高の減少や円高による為替のマイナス影響はあるものの、固定費の効率的運用などにより、営業利益については前年同期比で損失額が縮小しました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の資産の部は、現金及び現金同等物の増加やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ42億15百万円増加して、6,875億40百万円となりました。また、負債の部は、退職給付引当金や未払費用の減少などにより、前連結会計年度末に比べ163億86百万円減少して、2,199億 5 百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ206億 1 百万円増加して、4,676億35百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の65.1%から67.8%となりました。

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローの状況は、四半期純利益の計上や減価償却費の計上などにより、445 億 36 百万円の収入（前年同期比 30 億 99 百万円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、資本的支出や事業売却などにより、82 億 35 百万円の支出（前年同期比 498 億 22 百万円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより、151 億 74 百万円の支出（前年同期比 164 億 9 百万円の支出減）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 3 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 178 億 82 百万円増加し、1,007 億 92 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間の実績が好調に推移したことに加えて、足元の需要環境や円安を反映し、通期業績予想を以下のとおり上方修正いたします。なお、第 4 四半期の前提としております為替レートは、1 米ドル 110 円、1 ユーロ 120 円です。

業績予想は当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	765,000	55,000	55,000	40,000	187 円 08 銭
今回修正予想 (B)	780,000	64,000	62,500	44,000	205 円 79 銭
増減額 (B-A)	15,000	9,000	7,500	4,000	—
増減率 (%)	2.0%	16.4%	13.6%	10.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	833,604	62,287	65,686	47,290	218 円 95 銭

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更  
該当事項はありません。



### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
( 資 産 の 部 )				
流 動 資 産	389,609	57.1	418,542	60.8
現金及び現金同等物	82,910		100,792	
受取手形及び売掛金	165,093		161,254	
貸倒引当金	△ 1,654		△ 1,469	
たな卸資産	107,267		123,564	
繰延税金	18,469		19,021	
その他の流動資産	17,524		15,380	
有形固定資産	146,565	21.4	126,969	18.5
土地	26,376		25,641	
建物及び構築物	146,412		141,406	
機械その他	204,499		187,882	
建設仮勘定	6,142		6,710	
減価償却累計額	△ 236,864		△ 234,670	
投資その他の資産	147,151	21.5	142,029	20.7
のれん	30,253		31,634	
関連会社に対する 投資及び貸付金	25,048		24,814	
投資有価証券	37,055		31,496	
施設借用保証金	6,758		6,799	
繰延税金	22,080		22,876	
その他の資産	25,957		24,410	
資産合計	683,325	100.0	687,540	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%
( 負 債 の 部 )				
流 動 負 債	162,663	23.8	155,668	22.6
支払手形及び買掛金・未払金	82,606		87,498	
未 払 費 用	37,975		31,533	
未 払 税 金	6,890		3,046	
そ の 他 の 流 動 負 債	35,192		33,591	
繰 延 税 金	660	0.1	647	0.1
退 職 給 付 引 当 金	62,289	9.1	53,038	7.7
そ の 他 の 固 定 負 債	10,679	1.6	10,552	1.6
負 債 の 部 合 計	236,291	34.6	219,905	32.0
( 純 資 産 の 部 )				
株 主 資 本	444,718	65.1	465,877	67.8
資 本 金	64,100	9.4	64,100	9.3
資 本 剰 余 金	99,101	14.5	99,137	14.4
利 益 準 備 金	15,194	2.2	17,596	2.6
そ の 他 の 剰 余 金	317,171	46.4	338,116	49.2
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 50,204	△ 7.3	△ 52,421	△ 7.6
為 替 換 算 調 整 額	2,541		671	
退 職 年 金 債 務 調 整 額	△ 64,525		△ 62,013	
売却可能有価証券未実現損益	11,884		9,681	
デ リ バ テ ィ ブ 純 損 益	△ 104		△ 760	
自 己 株 式	△ 644	△ 0.1	△ 651	△ 0.1
非 支 配 持 分	2,316	0.3	1,758	0.2
純 資 産 の 部 合 計	447,034	65.4	467,635	68.0
負 債 及 び 純 資 産 合 計	683,325	100.0	687,540	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 〔自平成27年4月1日〕 〔至平成27年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成28年4月1日〕 〔至平成28年12月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比
高 上 売	614,013	100.0 %	568,687	100.0 %
低 上 売	376,654	61.3	344,718	60.6
高 上 売 総 利 益	237,359	38.7	223,969	39.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	153,876	25.1	141,162	24.8
試 験 研 究 開 発 費	39,313	6.4	36,992	6.5
営 業 利 益	44,170	7.2	45,815	8.1
そ の 他 費 用 ( △ 収 益 ) - 純 額 -	△ 519	△ 0.1	1,740	0.3
税 引 前 四 半 期 純 利 益	44,689	7.3	44,075	7.8
法 人 税 等	12,513	2.0	13,223	2.4
持 分 法 投 資 損 益 ( △ 利 益 )	△ 2,084	△ 0.3	△ 79	△ 0.0
四 半 期 純 利 益	34,260	5.6	30,931	5.4
非 支 配 持 分 帰 属 損 益	391	0.1	315	0.0
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	33,869	5.5	30,616	5.4

(四半期連結包括損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
		金 額	金 額
四 半 期 純 利 益		34,260	30,931
その他の包括利益－税効果考慮後			
為 替 換 算 調 整 額		△ 9,292	△ 1,962
退 職 年 金 債 務 調 整 額		847	2,512
売却可能有価証券未実現損益		△ 1,173	△ 2,203
デリバティブ純損益		△ 109	△ 656
その他の包括利益(△損失)計		△ 9,727	△ 2,309
四半期包括利益		24,533	28,622
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		348	223
当社株主に帰属する四半期包括利益		24,185	28,399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
			〔自平成27年4月1日 至平成27年12月31日〕		〔自平成28年4月1日 至平成28年12月31日〕	
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 四半期純利益				34,260		30,931
2. 営業活動によるキャッシュ・フローと 四半期純利益の調整						
(1) 減価償却費		23,198			21,474	
(2) 固定資産除売却損(△益)(純額)	△	71			384	
(3) 長期性資産及び売却予定資産の減損		—			12,205	
(4) 投資有価証券売却益(純額)	△	1,247			△ 142	
(5) 事業売却益		—			△ 3,686	
(6) 投資有価証券の減損		5			312	
(7) 退職給付信託設定益		—			△ 6,161	
(8) 退職給付引当金		1,299			2,791	
(9) 繰延税		439			△ 1,161	
(10) 持分法投資損益(△利益)	△	2,084			△ 79	
(11) 資産・負債の増減						
① 受取手形及び売掛金の減少		23,384			1,790	
② たな卸資産の増加	△	11,373			△ 18,860	
③ その他の資産の減少(△増加)	△	405			2,150	
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)	△	11,408			5,776	
⑤ 未払税金の減少	△	1,168			△ 3,340	
⑥ 未払費用及びその他流動負債の増加(△減少)	△	8,162			443	
(12) その他の他(純額)		968			△ 291	
営業活動によるキャッシュ・フロー				47,635		44,536
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 投資有価証券の売却及び償還による収入				1,892		317
2. 投資有価証券の取得		△ 29			△ 391	
3. 資本的支出		△ 27,558			△ 16,238	
4. 施設借用保証金の減少(△増加)(純額)		85			△ 33	
5. 有形固定資産の売却による収入		1,013			819	
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)		△ 20			30	
7. 事業売却(現金流出額との純額)		—			7,187	
8. 事業買収(現金取得額との純額)		△ 33,448			—	
9. その他の他(純額)		8			74	
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 58,057		△ 8,235
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>						
1. 短期債務の増加(純額)		—			187	
2. 親会社の支払配当金		△ 16,077			△ 14,539	
3. 非支配株主への支払配当金		△ 216			△ 297	
4. 自己株式の取得		△ 15,021			△ 8	
5. 非支配株主との資本取引による支出額		—			△ 470	
6. その他の他(純額)		△ 269			△ 47	
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 31,583		△ 15,174
<b>IV 換算レート変動の影響</b>				△ 2,026		△ 3,245
現金及び現金同等物の増減額				△ 44,031		17,882
期首現金及び現金同等物残高				102,622		82,910
四半期末現金及び現金同等物残高				58,591		100,792
営業活動によるキャッシュ・フローの追記						
1. 支払利息の支払額				153		93
2. 法人税等の支払額				13,245		18,439
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記						
1. 資本的支出に関連する債務				989		569
2. 退職給付信託へ抛出した投資有価証券の公正価額				—		8,487

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日) (単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	251,586	78,718	103,998	44,865	81,028	50,109	610,304	3,709	614,013
(2)セグメント間の内部売上高	4,068	36,190	455	3,217	174	12,415	56,519	△ 56,519	—
計	255,654	114,908	104,453	48,082	81,202	62,524	666,823	△ 52,810	614,013
営業費用	218,895	108,343	99,212	50,744	74,876	64,430	616,500	△ 46,657	569,843
営業利益(△損失)	36,759	6,565	5,241	△ 2,662	6,326	△ 1,906	50,323	△ 6,153	44,170

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日) (単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	239,992	68,882	96,911	34,554	75,991	48,601	564,931	3,756	568,687
(2)セグメント間の内部売上高	3,894	35,468	368	3,057	204	10,686	53,677	△ 53,677	—
計	243,886	104,350	97,279	37,611	76,195	59,287	618,608	△ 49,921	568,687
営業費用	206,819	97,202	92,397	40,983	68,614	60,732	566,747	△ 43,875	522,872
営業利益(△損失)	37,067	7,148	4,882	△ 3,372	7,581	△ 1,445	51,861	△ 6,046	45,815

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	241,170	99,726	79,674	126,850	66,593	614,013	—	614,013
(2)セグメント間の内部売上高	138,820	4,620	1,342	75,385	21,572	241,739	△ 241,739	—
計	379,990	104,346	81,016	202,235	88,165	855,752	△ 241,739	614,013
営業費用	358,696	103,742	76,593	189,102	81,501	809,634	△ 239,791	569,843
営業利益(△損失)	21,294	604	4,423	13,133	6,664	46,118	△ 1,948	44,170

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日) (単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	236,521	81,842	74,888	109,248	66,188	568,687	—	568,687
(2)セグメント間の内部売上高	127,483	4,689	1,289	71,794	18,888	224,143	△ 224,143	—
計	364,004	86,531	76,177	181,042	85,076	792,830	△ 224,143	568,687
営業費用	342,659	85,061	72,876	165,439	78,011	744,046	△ 221,174	522,872
営業利益(△損失)	21,345	1,470	3,301	15,603	7,065	48,784	△ 2,969	45,815

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	101,731	83,321	127,795	69,417	382,264
II 連結売上高					614,013
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.6	13.6	20.8	11.3	62.3

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	83,695	78,802	109,671	66,604	338,772
II 連結売上高					568,687
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.7	13.9	19.3	11.7	59.6

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……シンガポール・韓国・インド・豪州

## 4. 補足情報

### (1) 連結業績概要

		第3四半期累計			通期		
		平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	前年同期比	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	614,013	568,687	92.6%	833,604	780,000	93.6%
営業利益 (率)	百万円 (%)	44,170 (7.2%)	45,815 (8.1%)	103.7% (+0.9P)	62,287 (7.5%)	64,000 (8.2%)	102.8% (+0.7P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	44,689 (7.3%)	44,075 (7.8%)	98.6% (+0.5P)	65,686 (7.9%)	62,500 (8.0%)	95.1% (+0.1P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	33,869	30,616	90.4%	47,290	44,000	93.0%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	156円34銭	143円19銭	△13円15銭	218円95銭	205円79銭	△13円16銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	156円34銭	143円19銭	△13円15銭	218円95銭		
総資産	百万円	683,612	687,540	100.6%	683,325		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	491,577 (71.9%)	465,877 (67.8%)	94.8% (△4.1P)	444,718 (65.1%)		
1株当たり株主資本	円 銭	2,299円14銭	2,178円96銭	△120円18銭	2,079円98銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	47,635	44,536	△3,099	84,207		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△58,057	△8,235	+49,822	△67,116		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△31,583	△15,174	+16,409	△31,550		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	58,591	100,792	+42,201	82,910		

(注) 連結子会社数は166社、持分法適用関連会社数は15社です。



(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成28年3月期 第3四半期累計	平成29年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	国内	954	966	101.2%
	海外	1,562	1,434	91.8%
	計	2,516	2,400	95.4%
E M C	国内	178	166	93.4%
	海外	609	523	85.8%
	計	787	689	87.5%
A E C	国内	156	138	88.5%
	海外	884	831	94.0%
	計	1,040	969	93.2%
S S B	国内	431	343	79.6%
	海外	18	3	14.1%
	計	449	346	77.0%
H C B	国内	230	227	98.4%
	海外	580	533	92.0%
	計	810	760	93.8%
その他	国内	332	422	127.0%
	海外	169	64	37.8%
	計	501	486	97.0%
消去調整他	国内	36	37	103.5%
	海外	1	0	—
	計	37	37	101.3%
合 計	国内	2,317	2,299	99.2%
	海外	3,823	3,388	88.6%
	(海外比率)	(62.3%)	(59.6%)	(△2.7P)
	計	6,140	5,687	92.6%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成28年3月期 第3四半期累計	平成29年3月期 第3四半期累計	前年同期比
I A B	368	371	100.8%
E M C	66	71	108.9%
A E C	52	49	93.2%
S S B	△ 27	△ 34	—
H C B	63	76	119.8%
その他	△ 19	△ 14	—
消去調整他	△ 61	△ 61	—
合計	442	458	103.7%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成28年3月期 第3四半期累計	平成29年3月期 第3四半期累計	前年同期比
USD	121.5	106.9	△14.6
EUR	133.5	118.7	△14.8

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
I A B	3,360	3,230	96.1%
E M C	1,037	920	88.7%
A E C	1,400	1,290	92.2%
S S B	775	690	89.0%
H C B	1,081	1,000	92.5%
その他	630	620	98.4%
消去調整他	53	50	94.1%
合計	8,336	7,800	93.6%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
I A B	479	494	103.1%
E M C	85	89	104.8%
A E C	73	66	89.9%
S S B	32	40	125.1%
H C B	73	85	116.7%
その他	△ 41	△ 28	—
消去調整他	△ 78	△ 106	—
合計	623	640	102.8%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成28年3月期	平成29年3月期 予想	前期比
U S D	120.2	107.7	△12.5
E U R	132.2	119.1	△13.1

(注) 平成29年3月期の予想における第4四半期の業績予想の前提としている為替レートは1米ドル110円、1ユーロ120円です。